

（金融検討会議）これまでの討議活動について

【地域金融機関の立ち位置】

“つくり手”と“つかい手”の橋渡しの存在（つなぎ手）

これまでの検討会議で
出てきた
キーワード

共通したキーワードが出てきました

（水信）人材不足 （おか信）人材不足、高齢化、後継者不在 （広島）人材流出
（中国 児島）観光地として児島をPR、SNSで発信 （香川）人手不足（若い働き手）、
SNSで社内を発信 （トマト）人手不足（外国人に頼らざるを得ない）、児島駅の人出が少ない
（中国 田の口）海外の安価な製品の流入 （百十四）児島の魅力をPR・集客・SNS発信
（山陰合銀）児島繊維産業の技術力の発信、他業界（学校、医療、福祉・・・）との連携



キーワードを整理すると、、、

- （1）繊維産地として・・・人材、海外、ものづくり、技術力、他業界との連携
- （2）観光地として・・・PR、発信、集客、SNS



【金融検討会議からの課題提起】

地域金融機関
として何ができるか？

もっとシンプルに、『児島にあったらいいなと思うモノ・コト』について 若手交流会で、意見出しを行いました

- ・討議テーマを抽出し、中堅・中核世代と若手世代の2つのサブグループにて、
世代別にアウトプット（雑談形式）
- ・地域金融機関として実現したいこと、その取組イメージを共有

(金融検討会議) 討議の開催風景

2024年10月、『児島にあったらいいなと思うモノ・コト』について若手交流会で4つのグループに分かれ意見を出し合った結果を、各金融機関の上席へ報告会を行いました。

- ・ファッションショーの開催、道の駅、ホテル、温泉など様々な意見が出ました。
- ・オブザーバーとして岡山県・倉敷市の方、繊維の検討委員会メンバーの方にもご覧頂きました。

